

新幹線プレス

2015年10月3日

No.252

発行者 成田隆浩

編集者 教宣部

JR東海労新幹線地本

「安全最優先」？ステッカーに金かけるより蛍光灯を取替ろ！

「職場改善諸要求の申し入れ」で業務委員会開催《車両所編1》

新幹線地本は組合員から寄せられた職場改善諸要求を8月に申し入れを行いました。これに対する業務委員会が10月2日に開催され、車両所関係について議論を行いました。

ボーナスカットの理由とされてきた管理者による恣意的な指摘行為や、偽装請負疑いの仕業検査体制見直しの問題、作業環境や設備改善など安全に関する事項等、車両所関係の59項目について回答がありました。会社回答はほとんど「現状の通りとされたい」「そのような考えはない」という全く誠意のないもので、職場に貼ってある「安全最優先」は言葉だけか！そのような経費があるなら蛍光灯の一本も取替えろ！というみんなの思いを強く訴えました。

仕業検査における「偽装請負」の疑いは今も続いている！

会社は、7月から要員削減により見直した仕業検査のやり方を、たった一ヶ月後の8月3日から再度見直しました。私たちが指摘していた「偽装請負の疑い」に対して会社は、「今も、これまでも問題はなかったが、見直した」と回答しました。問題ないのになぜ見直したのか？に対しては、「より良いものにするため」と、苦しい言い訳をくり返すだけでした。更には、以前まで行ってきた共同作業をなかったことにしようと躍起になりました。このことは、これまでの作業者の苦労を否定するものであり、強く抗議しました。

偽装請負の疑いは続いています。会社は非を認めて、改めることを強く訴えました。

原則出向にこだわらず、現場で技術継承の充実を計るべきだ！

組合は『この間、退職間近の出向が多くあり、あえて職場から追い出そうとしているように思える。若手社員が多い中、標準化だけでは安全確保に懸念があるため、技術力継承の充実の為に、無理やり出向に出すことは止めるべきだ』と主張しました。しかし、会社は『技術力継承は重要だが出向も重要だ』として聞く耳を持ちません。私たちは今後も安全確保のために訴えていきます。

誠意のない会社回答を許さず、

さらに声を大きく広げよう！！